

# 舗装出来形管理

本書では、[舗装出来形管理]の解説例として、出来形データを入力して、帳票を作成するという一連の流れを、簡単なサンプルを用いて解説しています。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。



1. 新規工事作成	1
1-1 新規工事を作成する	1
2. 出来形データの入力	3
2-1 [舗装出来形管理]を起動する	3
2-2 路線を設定する	4
2-3 測点を作成する	5
2-4 設計値・実測値を入力する	6
2-5 データを保存する	8
3. 帳票の出力	9
3-1 帳票を出力する	9
3-2 [舗装出来形管理]を終了する	11

# 1 新規工事作成

[EX-TREND武蔵 インデックス]を起動して、新規に工事を作成してみましょう。

## 1-1 新規工事を作成する

[EX-TREND武蔵 インデックス]の[新規工事]の[新規に工事を作成する]で新規に工事を作成します。

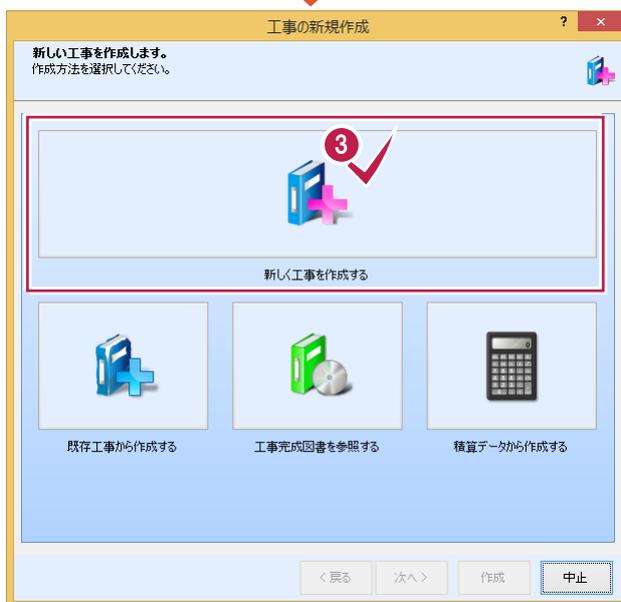


1 [EX-TREND武蔵 インデックス]をダブルクリックします。



2 [新規工事]をクリックします。

3 [新規に工事を作成する]をクリックします。



## 1. 新規工事成成

工事の新規作成

工事の基本情報を入力します。  
工事名称を入力してください。それ以外は後からでも変更できます。

4

工事名称: サンプル工事

発注年度(西暦): 2015

工事番号:

工事箇所:

河川路線名等:

工期開始・終了日: 2015年 6月25日 ~ 2015年 6月25日

請負金額: 0 円

工事内容:

電子納品を行う

要領・基準案の選択...

成果設定: 出荷時設定 武蔵

工事カラー: ここをクリックします

5

作成

4 工事情報を入力します。  
[工事名称]が入力されていれば、工事の作成が可能です。  
その他の情報は後から、編集可能です。

5 [作成]をクリックします。

EX-TREND武蔵 インデックス

名称	工事数	工事名称	施工状況	工期開始日	工期終了日	最終更新日	サイズ	持ち出し	説明
グループ	1	サンプル工事	着工前	2015/06/25	2015/06/25	2015/06/25	51 KB		

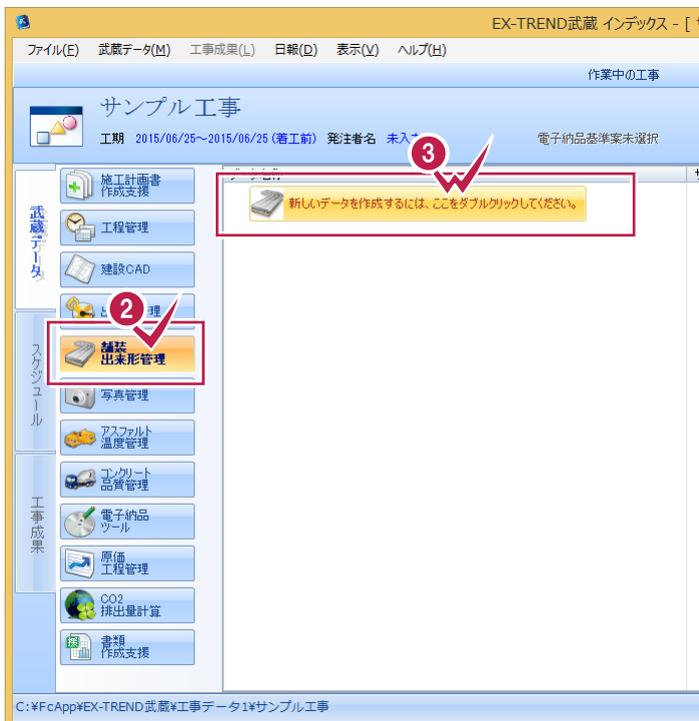
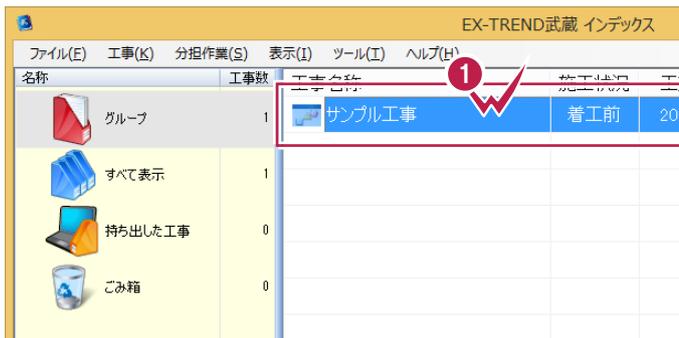
今日のイベント: 0件 | グループ: グループ | C:\FcApp\EX-TREND武蔵\工事データ1\サンプル工事

# 2 出来形データの入力

[舗装出来形管理]を起動して、出来形データを入力してみましょう。

## 2-1 [舗装出来形管理]を起動する

操作例では、EX-TREND武蔵 インデックスの[武蔵データ]から[舗装出来形管理]を起動します。



1 作成した工事をダブルクリックします。

2 [舗装出来形管理]をクリックします。

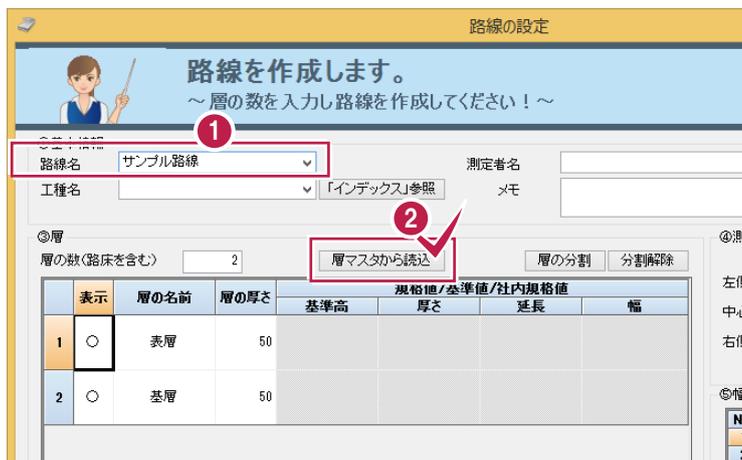
3 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

# 2-2

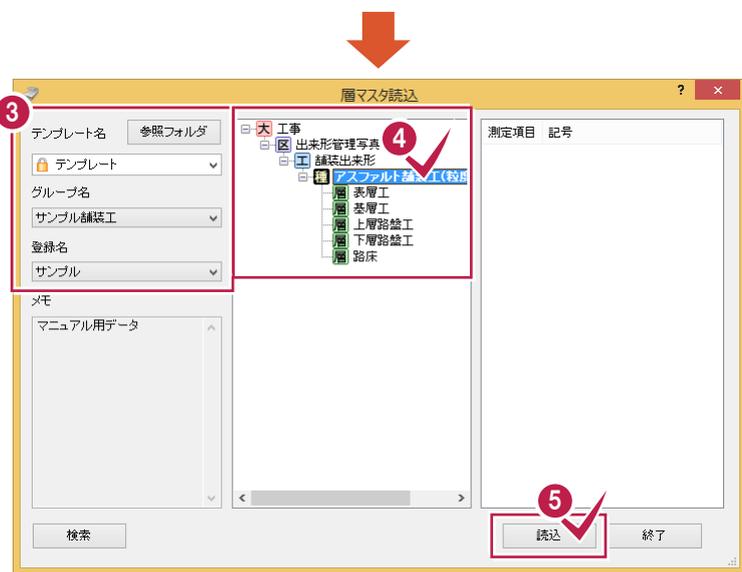
## 路線を設定する

路線を設定します。

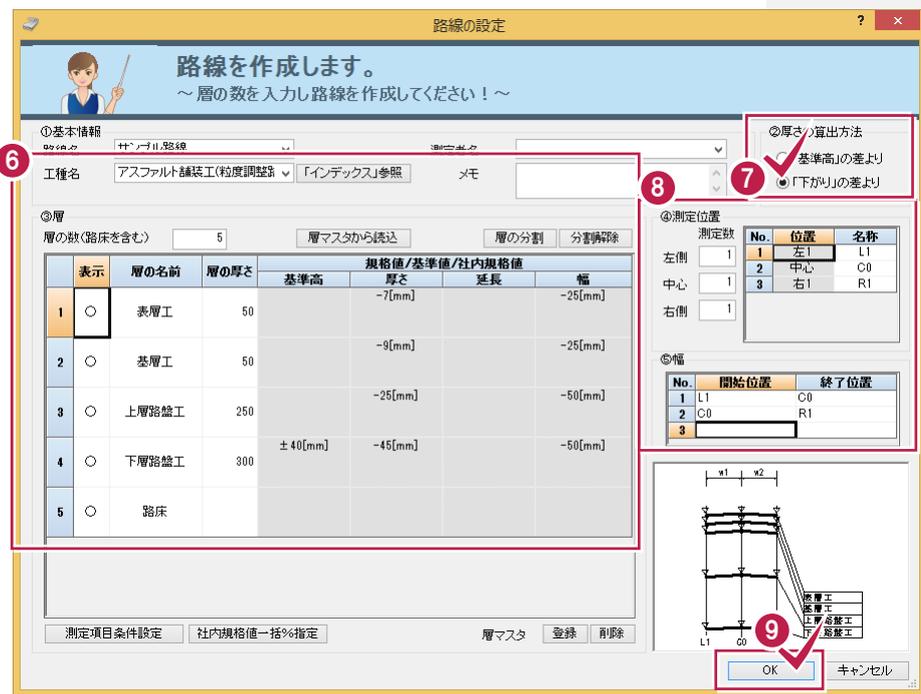
操作例では、層マスタから読み込んで、管理する層の数や測定項目、管理方法などを設定します。



- 1 路線名を入力します。
- 2 [層マスタから読込]をクリックします。



- 3 テンプレート名、グループ名、登録名を選択します。
- 4 「アスファルト舗装工(粒度調整路盤)」をクリックします。
- 5 [読込]をクリックします。
- 6 読み込まれた工種、層を確認します。
- 7 操作例では、「下がり」の差より厚さを算出するので、「[下がり]の差より」をクリックします。
- 8 測定位置、幅の開始位置、終了位置を指定します。
- 9 [OK]をクリックします。



## 2-3 測点を作成する

測定項目の測点を作成します。操作例では、「No.0」～「No.10」を作成します。

- 1 開始No、終了Noを入力し、[+杭]のチェックをオフにします。
- 2 [OK]をクリックします。



測点名	基準高			下がり			延長			幅	
	L1	C0	R1	L1	C0	R1	L1	C0	R1	w1	w2
No.0											
No.1											
No.2											
No.3											
No.4											
No.5											
No.6											
No.7											
No.8											
No.9											
No.10											

測点名が作成されます。

# 2-4 設計値・実測値を入力する

測定項目の設計値・実測値を入力します。操作例では、以下のように入力します。

- ①No.0の下がりの設計値を入力する
- ②No.0の下がりの実測値を入力する
- ③No.0の幅の設計値・実測値を入力する
- ④同様に、No.1～No.10の測定項目の設計値・実測値を入力する

## ①No.0の下がりの設計値を入力する

[写真管理]で[写真管理]を起動して、入力されている写真を参照できます。

操作例では表層工の[下がり]の設計値を入力すると、[路線の設定]の[層の厚さ]より[基層工][上層路盤工][下層路盤工][路床]の[下がり]の設計値が自動で入力されます。

		基準高			下がり			延長			幅	
		L1	CO	R1	L1	CO	R1	L1	CO	R1	w1	w2
表層工	設計値				50	50	50					
	実測値1											
	差1											
基層工	設計値				100	100	100					
	実測値1											
	差1											
上層路盤工	設計値				150	150	150					
	実測値1											
	差1											
下層路盤工	設計値				400	400	400					
	実測値1											
	差1											
路床	設計値				700	700	700					
	実測値1											
	差1											

- 1 「No.0」をクリックします。
- 2 [表層工]の[下がり]の設計値を入力します。

## ②No.0の下がりの実測値を入力する

※厚さ(内実測値)

		基準高			下がり			延長			幅	
		L1	CO	R1	L1	CO	R1	L1	CO	R1	w1	w2
表層工	設計値				50	50	50					
	実測値1				52	53	51					
	差1				2	3	1					
基層工	設計値				100	100	100					
	実測値1				105	104	106					
	差1				5	4	6					
上層路盤工	設計値				150	150	150					
	実測値1				160	165	162					
	差1				10	15	12					
下層路盤工	設計値				400	400	400					
	実測値1				422	420	420					
	差1				22	20	20					
路床	設計値				700	700	700					
	実測値1				730	745	725					
	差1				30	45	25					

- 1 「No.0」の[表層工][基層工][上層路盤工][下層路盤工][路床]の[下がり]の実測値を入力します。

## ③No.0の幅の設計値・実測値を入力する

測点名		基準高			下がり			延長			幅	
		L1	CO	R1	L1	CO	R1	L1	CO	R1	w1	w2
No.0	表層工				50	50	50				6000	6000
No.1	表層工				52	53	51				6020	6030
No.2	表層工				2	3	1				20	30
No.3	表層工				100	100	100				6000	6000
No.4	基層工				105	104	106				6040	6025
No.5	基層工				5	4	6				40	25
No.6	上層路盤工				150	150	150					
No.7	上層路盤工				160	165	162					
No.8	上層路盤工				10	15	12					
No.9	下層路盤工				400	400	400					
No.10	下層路盤工				422	420	420					
	路床				22	20	20					
	路床				700	700	700					
	路床				730	745	725					
	路床				30	45	25					

- 1 「No.0」の[表層工]  
[基層工]の[幅]の設計値・  
実測値を入力します。

## ④同様に、No.1～No.10の測定項目の設計値・実測値を入力する

測点名		基準高			下がり			延長			幅	
		L1	CO	R1	L1	CO	R1	L1	CO	R1	w1	w2
No.0	表層工				50	50	50				6000	6000
No.1	表層工				52	53	51	20.032			6020	6030
No.2	表層工				2	3	1	32			20	30
No.3	表層工				100	100	100	20.000			6000	6000
No.4	基層工				105	104	106	20.040			6040	6025
No.5	基層工				5	4	6	40			40	25
No.6	上層路盤工				150	150	150	20.000				
No.7	上層路盤工				160	165	162					
No.8	上層路盤工				10	15	12					
No.9	下層路盤工				400	400	400	20.000				
No.10	下層路盤工				422	420	420					
	路床				22	20	20					
	路床				700	700	700	20.000				
	路床				730	745	724					
	路床				30	45	24					

- 1 同様にNo.1～No.10の  
測定項目の設計値・実測値  
を入力します。

あらかじめ用意してある「舗装出来形サンプルデータ.csv」を開き、データをコピーすることもできます。  
「舗装出来形サンプルデータ.csv」は、「各種資料¥武蔵 ¥入門編(サンプルデータ)¥6\_写真・出来形・品質管理」フォルダーにコピーされます。

# 2-5 データを保存する

データを保存します。

測点名		基準高			下がり			延長			幅		
		L1	C0	R1	L1	C0	R1	L1	C0	R1	w1	w2	
No.0	設計値				50	50	50				20.000	6000	6000
No.1	実測値1				52	53	51				20.032	6020	6030
No.2	差1				2	3	1				32	20	30
No.3	設計値				100	100	100				20.000	6000	6000
No.4	実測値1				105	104	106				20.040	6040	6025
No.5	差1				5	4	6				40	40	25
No.6	設計値				150	150	150				20.000		
No.7	実測値1				160	165	162						
No.8	差1				10	15	12						
No.9	設計値				400	400	400				20.000		
No.10	実測値1				422	420	420						
	差1				22	20	20						
	設計値				700	700	700				20.000		
	実測値1				730	745	724						
	差1				30	45	24						

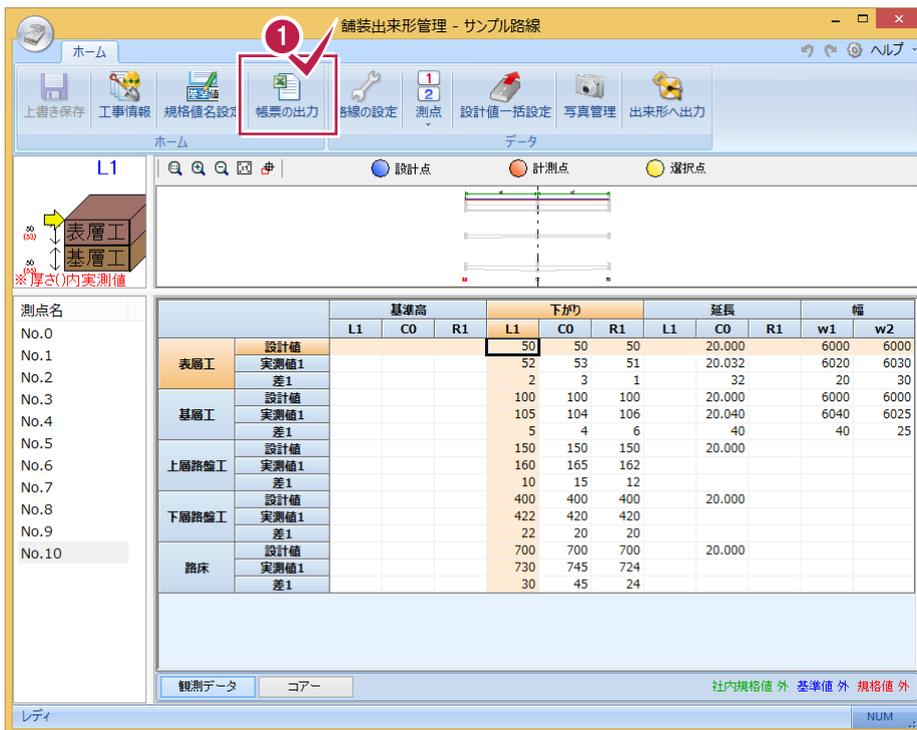
1 [上書き保存]をクリックします。

# 3 帳票の出力

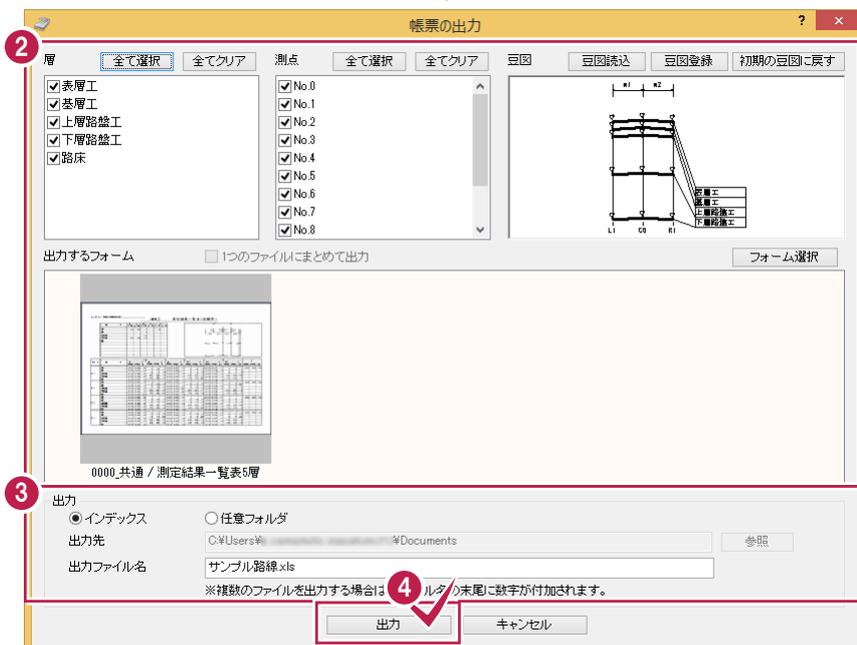
帳票を出力してみましょう。

## 3-1 帳票を出力する

帳票を出力します。



1 [帳票の出力]をクリックします。



### 3. 帳票の出力

サンプル路線.xls [互換モード] - Excel

MS 明朝 7 A A

標準

条件付き書式 テーブルとして書式設定

セルのスタイル セルの書式設定

挿入 削除 並べ替えとフィルター

検索と選択

工事項目

サンプル工事

アスファルト舗装工(粒度調整路盤) 測定結果一覧表(道路用)

種別	単位	No.0			No.1			No.2			計					
		新計値	算出値	差	新計値	算出値	差	新計値	算出値	差	新計値	算出値	差			
表層工			50	53	+3		50	51	+1		50	55	+5	6,000	6,020	+20
基層工			50	55	+5		50	61	+11		50	56	+6	6,000	6,040	+40
上層路盤工			250	262	+12		250	255	+5		250	258	+8			
下層路盤工			300	308	+8		300	325	+25		300	305	+5			
路床																
計														6,000	6,025	+25
表層工			50	50	±0		50	50	±0		50	51	+1	6,000	6,025	+25
基層工			50	63	+13		50	60	+10		50	56	+6	6,000	6,030	+30
上層路盤工			250	259	+9		250	260	+10		250	260	+10			
下層路盤工			300	308	+8		300	310	+10		300	293	-7			
路床																
計														6,000	6,015	+15
表層工			50	57	+7		50	54	+4		50	53	+3	6,000	6,020	+20
基層工			50	51	+1		50	60	+10		50	60	+10	6,000	6,020	+20
上層路盤工			250	253	+3		250	252	+2		250	258	+8			
下層路盤工			300	326	+26		300	340	+40		300	320	+20			
路床																

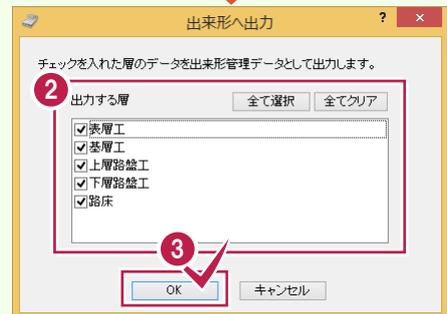
帳票が表示されます。

### メモ 座標値の入力方法

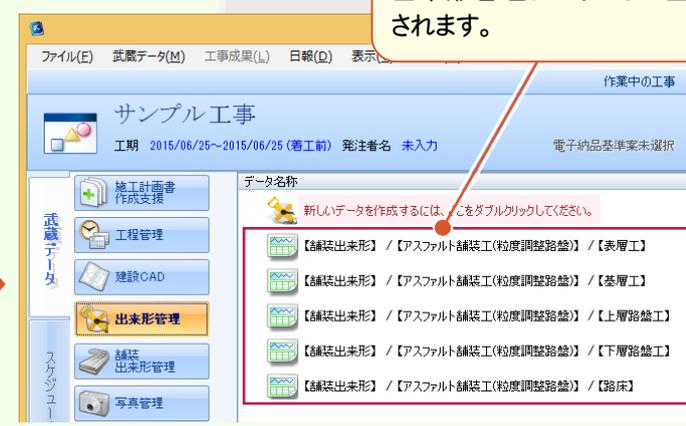
【出来形へ出力】で、出来形管理データとして出力することができます。



- 1 【出来形へ出力】をクリックします。
- 2 出来形管理データとして出力する層を選択します。
- 3 【OK】をクリックします。
- 4 【OK】をクリックします。



出来形管理データとして出力されます。



## 3-2 [舗装出来形管理]を終了する

[舗装出来形管理]を終了します。

測点名		基準高			下がり			延長			幅	
		L1	C0	R1	L1	C0	R1	L1	C0	R1	w1	w2
No.0	設計値				50	50	50	20.000			6000	6000
No.1	実測値1				52	53	51	20.032			6020	6030
No.2	差1				2	3	1	32			20	30
No.3	設計値				100	100	100	20.000			6000	6000
No.4	実測値1				105	104	106	20.040			6040	6025
No.5	差1				5	4	6	40			40	25
No.6	設計値				150	150	150	20.000				
No.7	実測値1				160	165	162					
No.8	差1				10	15	12					
No.9	設計値				400	400	400	20.000				
No.10	実測値1				422	420	420					
	差1				22	20	20					
	設計値				700	700	700	20.000				
	実測値1				730	745	724					
	差1				30	45	24					

1 アプリケーションのボタンをクリックします。

2 [舗装出来形管理の終了]をクリックします。

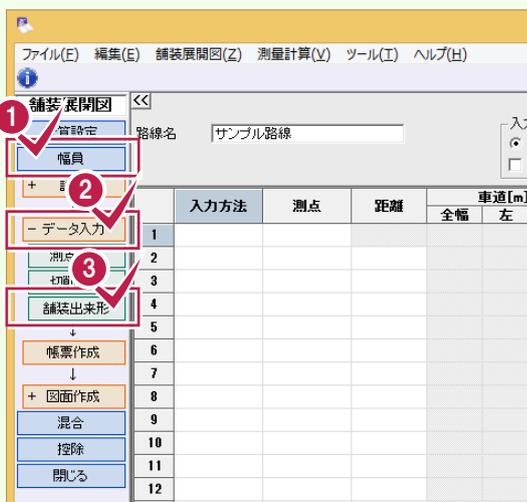


操作例では、[帳票の出力]で[インデックス]を指定しているのので、インデックスに帳票のExcelファイルが登録されます。

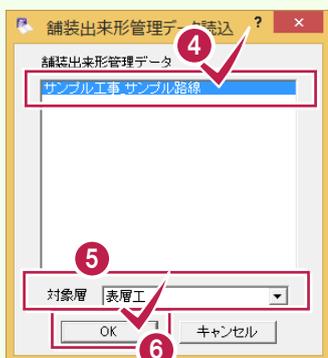


### 舗装出来形管理データを[舗装展開図]で取り込む

舗装出来形管理のデータを、[建設CAD]の[舗装展開図]で取り込むことができます。



- 1 [建設CAD]の[舗装展開図]の[幅員]をクリックします。
- 2 [データ入力]をクリックします。
- 3 [舗装出来形]をクリックします。



- 4 舗装出来形管理のデータを選択します。
- 5 対象層を選択します。
- 6 [OK]をクリックします。

舗装出来形管理のデータが取り込まれます。

